製品安全データシート

作成日　2014年　9月18日
改訂日　　年　月　日

1.製品及び会社情報

製品名	セメンテックスVF－J
会社名	オバナヤ･セメンテックス株式会社
住所	三重県いなべ市北勢町東村 1339
電話番号	0594-72-6488
FAX番号	0594-72-6253
担当部門	製造部　工場管理課
整理番号	M2307

2.危険有害性の要約

GHS分類

急性毒性

経口:	分類できない
経皮:	分類できない
吸入（ガス）:	分類対象外
吸入（蒸気）:	分類対象外
吸入（粉塵）:	分類できない
皮膚腐食性/刺激性:	区分1
眼に対する重篤な損傷性/刺激性:	区分1

感作性

呼吸器:	区分1
皮膚:	区分1
生殖細胞変異原性:	分類できない
発がん性:	区分1
生殖毒性:	分類できない
特定標的臓器/全身毒性(単回暴露):	区分1(呼吸器系)
特定標的臓器/全身毒性(反復暴露):	区分1(呼吸器系、腎臓)
吸引性呼吸器有害性:	分類できない
水性環境有害性(急性):	分類できない
水性環境有害性(慢性):	分類できない
オゾン層への有害性:	分類できない

GHSラベル要素

注意喚起語:	危険
危険有害性情報:	重篤な皮膚の薬傷及び眼の損傷 吸入するとアレルギー、喘息又は呼吸困難を起こすおそれ アレルギー性皮膚反応を起こすおそれ 発がんのおそれ 臓器(呼吸器系)の障害 長期にわたる又は反復ばく露による臓器(呼吸器系、腎臓)の障害

注　意　書　き:≪安全対策≫
使用前に取扱説明書を入手し、全ての安全注意を読み理解するまで取り扱わないこと。
粉じん／煙／ガス／ミスト／蒸気／スプレーを吸入しないこと。
この製品を使用するときに、飲食又は喫煙をしないこと。
保護手袋／保護衣／保護眼鏡／保護面を着用すること。
汚染された作業衣は作業場から出さないこと。
取扱い後は、手洗い及びうがいを十分にすること。
換気が不十分な場合、呼吸用保護具を着用すること。
≪応急処置≫
飲み込んだ場合:口をすすぐこと。無理に吐かせないこと。
皮膚に付着した場合:多量の水で洗うこと。
皮膚(又は髪)に付着した場合:汚染された衣類を直ちに全て脱ぎ、皮膚を流水／シャワーで洗うこと。
吸入した場合:空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。
眼に入った場合:水で数分間注意深く洗うこと。コンタクトレンズを装着していて容易に外せる場合は外し、その後も洗浄を続けること。直ちに医師に連絡すること。
気分が悪い時は、医師の診断／手当を受けること。
皮膚刺激又は発しん(疹)が生じた場合:医師の診断／手当を受けること。
呼吸に関する症状が出た場合:医師に連絡すること。
汚染された衣類を再使用する場合には洗濯をすること。
特別な処置が必要である。
≪保管≫
施錠して保管すること。
≪廃棄≫
内容物／容器を法令に従って適切に廃棄すること。

3.組成・成分情報

単一製品・混合物の区分:　混合物
化学名または一般名:　ポルトランドセメント、特殊混和材(非公開)、硅砂、軽量骨材、アクリル酸エステル/メタクリル酸エステル共重合体粉末状樹脂(非公開)、添加剤(非公開)、繊維(非公開)
アスベスト類の物質は含んでいない。
化審法及び安衛法による成分表示:

成分	含有量	官報公示整理№.	CAS№.	安衛法	PRTR法
シリカ	約60%	1-548	14808-60-7	通知対象物	該当しない

4.応急措置

吸入した場合:　直ちに空気の新鮮な場所に移し、水または温水でうがいをする。症状の変化に応じて医師の手当を受ける。
皮膚に付着した場合:　多量の水及び石鹸又は皮膚用の洗剤を使用して充分に洗い落とす。
外観に変化が見られたり、刺激・痛みがある場合は医師の手当てを 受けること。
目に入った場合:　直ちに多量の清浄な水で充分に洗浄し、出来るだけ速く医師の手当てを受けること。
飲み込んだ場合:　誤って飲み込んだ場合には、安静にして直ちに医師の手当てを受けること。
嘔吐物は飲み込ませないこと。医師の指示による以外は無理に吐かせないこと。

5.火災時の措置

消火剤:　製品自体は不燃物質である為、必要なし。

6.漏出時の措置

人体に対する注意事項/保護具及び緊急時措置:　作業の際には適切な保護具(手袋、保護マスク、エプロン、ゴーグル等)を着用する。

環境に対する注意事項: 飛散しないよう注意し、掃除機等で吸引し回収する。
漏出した製品や洗浄水が河川等へ排出され、環境に影響を起こさないように注意する。

7.取扱い及び保管上の注意

取扱い上の注意: 取扱いは、出来るだけ密閉された装置、機器を使用し、局所排気装置を設置するなど換気の良い場所で行う。作業は出来るだけ風上から行なう。
取扱い時には防塵マスク・保護眼鏡等適切な保護具を着用する。
水と接触するとアルカリ性(pH12～13)を呈し、目、呼吸器及び継続的な皮膚接触により刺激する場合がある。

保管上の注意: 湿気、直射日光を避け、屋内でパレット上などに置くなど床面より離した状態で保管する。

8.暴露防止及び保護措置

設備対策: 屋内で作業する場合は、集塵装置または換気装置を備え、粉塵濃度が許容量以下になるようにする。
取扱い場所の近くに洗眼、水洗設備を設置することが望ましい。

管理濃度: 労働安全衛生法・作業環境評価基準 3.0 mg/m^3

許容濃度: 日本産業衛生学会(2008 年) 第2種粉塵
吸入性粉塵 1mg/m^3
総粉塵 4mg/m^3
吸入性結晶質シリカ 0.03 mg/m^3

保護具

目の保護具: ゴーグルタイプの保護眼鏡

手の保護具: ゴム又は樹脂製の保護手袋

呼吸器の保護具: 防塵マスク

皮膚及び身体の保護具: 皮膚を直接曝させないような長袖、長ズボンの保護衣を着用することが望ましい。
保護長靴、エプロン

9.物理的及び化学的性質

形状: 粉体

色: 灰色

臭い(臭いの閾値): 無臭

pH: 12～13(水と接触した場合)

物理的状態が変化する

特定の温度/温度範囲: データなし

溶解性: データなし

10.安定性・反応性

安定性: 通常の保管、取扱い条件で安定。

反応性: 水と反応して固化する。

危険有害な分解生成物: 該当しない

11.有害性情報

急性毒性・経口: データなし

急性毒性・経皮: データなし

皮膚腐食性/刺激性: 長時間付着した状況では皮膚に炎症を起こす可能性がある。

眼に対する重篤な損傷性/刺激性: 水と接触するとアルカリ性(pH12～13)を呈し、眼、鼻、皮膚に対し刺激性がある。

急性毒性・吸入(粉塵): データなし

呼吸器感作性/皮膚感作性: データなし

生殖細胞変異原生: データなし

発がん性: データなし

生　殖　毒　性: データなし
特定標的臓器/全身毒性(単回暴露): データなし
特定標的臓器/全身毒性(反復暴露): データなし
吸引性呼吸器有害性: データなし

12.環境影響情報

生　態　毒　性: 接触水はアルカリ性を呈するので、環境に影響を及ぼさないように注意する。
残留性/分解性: データなし
生体蓄積性: データなし
土壌中の移動性: データなし
オゾン層への有害性: データなし

13.廃棄上の注意

残余廃棄物: 都道府県知事の許可を受けた産業廃棄物処理業者に処理を委託する。
洗浄水等は、凝集沈殿処理により洗浄してから排出すること。
汚染容器: 内容物を完全に除去した後に処分する。
都道府県知事の許可を受けた産業廃棄物処理業者に処理を委託する。

14.輸送上の注意

輸送の特定の安全対策及び条件: 取扱い及び保管上の注意の項の記載に従うこと。
容器・包装からの漏れ、破損のないことを確かめ、衝撃、転倒、落下等のないように積み込み、荷崩れ防止を確実に行う。
湿気、水漏れに注意する。
国内規制: 消防法、毒劇物法等のいずれにも該当しない。

15.適用法令

〈シリカ〉 労働安全衛生法　第 57 条の 2、施行令第 18 条の 2 別表第 9、政令番号　第 312 号、法第 22 条、粉塵障害防止規則別表第1
〈製　品〉 じん肺法:第 2 条施行規則別表　粉じん作業

16.その他情報

引用文献 化学工業日報社「労働安全衛生法 MSDS 対象物質全データ(改訂第2版)」
各原材料製造会社の製品安全データシート

本データシートは作成時または改訂時において、製品及びその組成に関する最新の情報(危険有害性情報・取扱い情報)を集めて作成しておりますが、全ての情報を網羅したものではなく、新たな情報を入手した場合には追加・修正を行い改訂いたします。
また、本データシートに記載のデータは、その製品を代表する値であり、保証値ではありません。本製品を当社が認めた材料以外のものとの混合、当社が認めた仕様以外の特殊な条件で使用する場合には、使用者において安全性の確認を行って下さい。